

移動式 ICT ユニット(MDRU)の概要と フィリピンにおける実証実験について

Outline of Movable and Deployable ICT Resource Unit (MDRU) and the feasibility study in the Philippines

鈴木 康夫 清水 芳孝

Yasuo SUZUKI and Yoshitaka SHIMIZU

日本電信電話株式会社 NTT 未来ねっと研究所

概要

近年、家庭内では設置や設定の容易さから無線 LAN を利用する人が増えています。また、屋外においても、無線 LAN 機能を具備するスマートフォンの普及や 2020 年の東京オリンピック開催に向けた外国人観光客の増加に向け、今後、屋内外において無線 LAN の利用機会がさらに増えることが予想されます。我々は、このように普及拡大している無線 LAN を災害時にも活用することが望ましいと考えています。災害時には、無線 LAN アクセスポイントに接続している光ファイバなどのアクセス回線が断絶する等、日常とは異なったネットワーク環境に迅速に対応する必要があります。NTT 未来ねっと研究所では、被災地などで必要最低限の ICT サービスを無線アクセスネットワークを使用して即時提供できる、「移動式 ICT ユニット」方式を提案しました。提案方式は、サービス提供に必要な装置類を収容した可搬型のユニットを用い、災害時、これを被災地に搬送、設置、立ち上げることでサービスの提供を可能にします。

本稿では、移動式 ICT ユニットの概要 (図 1) とその構成要素である無線アクセスネットワーク、開発した ICT カー (図 2) および災害用 IP-PBX について述べ、現在フィリピンにおいて行っている実証実験について紹介します。

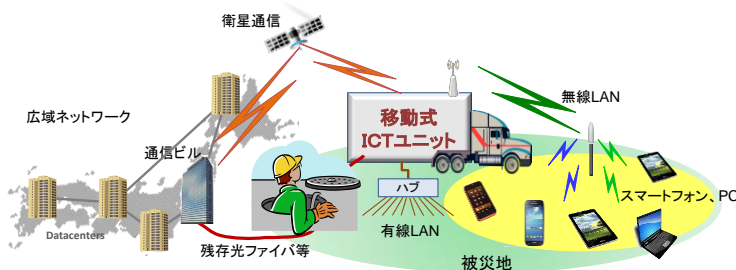


図 1 移動式 ICT ユニット方式の概要



図 2 ICT カー

Abstract

NTT Network Innovation Laboratories have been developing the movable and deployable ICT resource unit (MDRU); it enables us to quickly reestablish ICT services in disaster-struck areas. In this paper, the outline of Movable and Deployable ICT Resource Unit (MDRU) and its components that consist of wireless access network, a developed ICT car, and a developed IP-PBX for accidents, are described and the feasibility study currently conducting in the Philippines is also presented.